

# 2008年3月期 中間決算説明会

2007年10月29日  
日本郵船(株)



**NYK**LINE  
NIPPON YUSEN KAISHA

# 目次

---

- 1) 07 / 9期 決算 (P.2 – P.5)
- 2) 08 / 3期 業績予想 (P.6 – P.8)
- 3) セグメント別状況 (P.9 – P.12)
  - 航空運送事業 (P.13 – P.15)

# 07 / 9期 決算サマリー

- 1) 前年同期比 売上高 + 19%、経常利益 + 91%の  
増収増益により**中間期最高益を更新!** (億円)

		売上高		営業利益		経常利益		純利益	
06/9期		10,536		471		489		296	
07/9期		12,567		907		932		550	
増減	%	2,030	19%	435	92%	443	91%	254	86%

- 2) 海運部門 : **海運業合計で 461億円の増益**

- 3) 非海運部門 : **主要3部門合計で 37億円の増益**

**非海運6部門(含むNCA)合計では18億減益**

- 4) 為替・燃料油 : (06/9期 vs 07/9期・中間期実績比較)

為替レート 4.38円の円安 (115.26円 119.64円)

燃料油価格 \$13.85/MT高 (\$336.04/MT \$349.89/MT)

# 前年同期比増減分析

(億円)

円安	44	今期 119.64円 / 4.38円の円安
燃料油高	24	今期 \$349.89/ \$13.85の燃料油高
海運市況変動など	353	
非海運部門	21	新規連結 3億を除く
コスト削減	64	海運 52億円、非海運 12億円
新規連結	27	海運 24億円、非海運 3億円
合計	443	

## 経常利益(年間)に対する感応度

為替 1円の円安で約 20 億円の増益

燃料油 \$1/MTの燃料油価格上昇で約 3.5 億円の減益

# 07 / 9期・前年同期比較 (セグメント別)



(億円)

売上高	定期船	不定期専用船	物流	ターミナル	客船	航空運送	不動産	その他	消去・全社	連結
06/9月期	2,906	3,706	2,278	622	242	486	58	903	665	10,536
07/9月期	3,310	4,888	2,608	769	263	494	55	935	755	12,567
増減	404	1,182	330	146	20	8	3	32	90	2,030

経常利益	定期船	不定期専用船	物流	ターミナル	客船	航空運送	不動産	その他	消去・全社	連結
06/9月期	48	466	72	24	39	85	20	1	0	489
07/9月期	77	801	79	41	51	140	20	2	0	932
増減	126	335	7	17	13	55	0	1	0	443

(売上高)	07/9期	06/9期	増減	増減率
不定期船	4,243	3,126	1,117	36%
タンカー	645	580	65	11%
計	4,888	3,706	1,182	32%

# 上期修正予想(7/27)比較 (セグメント別)



(億円)

売上高	定期船	不定期専用船	物流	ターミナル	客船	航空運送	不動産	その他	消去・全社	連結
07/9期予想	3,180	4,650	2,680	740	260	460	55	940	865	12,100
07/9期実績	3,310	4,888	2,608	769	263	494	55	935	755	12,567
達成度	104%	105%	97%	104%	101%	107%	100%	99%	-	104%
増減	130	238	72	29	3	34	0	5	-	467

経常利益	定期船	不定期専用船	物流	ターミナル	客船	航空運送	不動産	その他	消去・全社	連結
07/9期予想	40	700	85	35	49	115	19	12	0	800
07/9期実績	77	801	79	41	51	140	20	2	0	932
達成度	193%	114%	93%	118%	105%	-	104%	-	-	116%
増減	37	101	6	6	2	25	1	14	-	132

(売上高)	07/9期実績	07/9期7/27予想	Balance	達成度
不定期船	4,243	4,060	183	105%
タンカー	645	590	55	109%
計	4,888	4,650	238	105%

# 08 / 3期 修正業績予想サマリー

- 1) 業績予想：売上高・経常利益ともに過去最高を予想。  
売上高 2兆5,400億(前回予想比 + 1,300億 / + 5%)  
経常利益 1,800億(同 + 250億 / + 16%)に上方修正
- 2) 海運部門：定期船は上期上振れにより通期で + 30億、  
不定期専用船は市況高騰による上期上振れ分を含めて  
通期で + 270億、業績予想を上方修正
- 3) 非海運部門：主要3部門は計画通りの利益成長が続くが、  
NCAは市況低迷で 75億業績予想を下方修正
- 4) 下期 為替・燃料油前提  
為替：113円/ドル 燃料油価格：\$ 430/MT
- 5) 配当予想：年間24円 / 株(中間12円 + 期末12円)  
前回予想18円 / 年から6円 / 年の増配

# 08 / 3期通期業績予想

(億円)

	前回予想			今回予想			増減 通期
	上期	下期	通期	上期	下期	通期	
売上高	12,100	12,000	24,100	12,567	12,833	25,400	1,300 5%
営業利益	760	770	1,530	907	913	1,820	290 19%
経常利益	800	750	1,550	932	868	1,800	250 16%
純利益	520	480	1,000	550	560	1,110	110 11%

為替  
燃料油

¥119.92	¥115.00	¥117.46	¥119.64	¥113.00	¥116.32	¥-1.14
\$350.14	\$370.00	\$360.07	\$349.89	\$430.00	\$389.95	\$29.88

08 / 3期 下期 為替 前提 : 113円/\$  
08 / 3期 下期 燃料油価格 前提 : \$430/MT





# 08 / 3期・通期業績予想 (セグメント別)

(億円)

売上高	定期船	不定期専用船	物流	ターミナル	客船	航空運送	不動産	その他	消去・全社	連結
前回予想	6,450	8,950	5,530	1,420	470	1,000	110	1,890	1,720	24,100
今回予想	6,600	9,900	5,480	1,460	500	1,000	110	1,910	1,561	25,400
上期実績	3,310	4,888	2,608	769	263	494	55	935	755	12,567
下期予想	3,290	5,012	2,872	691	237	507	55	975	806	12,833
増減	150	950	50	40	30	0	0	20	159	1,300

経常利益	定期船	不定期専用船	物流	ターミナル	客船	航空運送	不動産	その他	消去・全社	連結
前回予想	50	1,350	210	65	50	190	35	20	0	1,550
今回予想	80	1,620	205	80	55	265	35	10	0	1,800
上期実績	77	801	79	41	51	140	20	2	0	932
下期予想	3	819	126	38	3	125	16	12	0	868
増減	30	270	5	15	5	75	0	10	0	250

(売上高)	今回予想	前回予想	増減	増減率
不定期船	8,660	7,755	905	12%
タンカー	1,240	1,195	45	4%
	9,900	8,950	950	11%

# セグメント別状況

## 1. 海運業 - 1) コンテナ輸送実績 / 自動車輸送台数

### コンテナ輸送量実績(千TEU)

	06/4-9 (実)	07/4-9 (実)	増減	07/4-9 (予)	07/4-9 (実)	増減	07/3期 通期(実)	08/3期 通期(予)	増減
アジア 北米	367	390	6.2%	391	390	-0.2%	704	799	13.5%
(消席率)	88%	88%		88%	88%		85%	88%	
アジア 欧州	234	267	13.9%	269	267	-1.0%	466	570	22.2%
(消席率)	93%	92%		93%	92%		93%	93%	

\* 欧州航路は2007年3月期実績数値より域内航路を除外した為、一部Restate値となっています。

### 自動車輸送台数実績(万台)

	06/4-9 (実)	07/4-9 (実)	増減	07/4-9 (予)	07/4-9 (実)	増減	07/3期 通期(実)	08/3期 通期(予)	増減
全航路	156	168	7.7%	161	168	4.3%	318	346	8.8%

\* 計上基準変更の影響で、07/3期実績はRestate値となっています。



# セグメント別状況

## 1. 海運業 - 2)

### バルク・エネルギー輸送部門の市況動向(指数)

	07 / 3期			08 / 3期				
	上期 (実)	下期 (実)	通期 (実)	1Q (実)	2Q (実)	上期 (実)	下期 (予)	通期 (予)
ばら積船(ケープサイズ)	63	105	84	147	177	162	181	172
ばら積船(ハンディサイズ)	81	104	92	126	151	139	149	144
VLCC	67	47	57	48	38	43	57	50

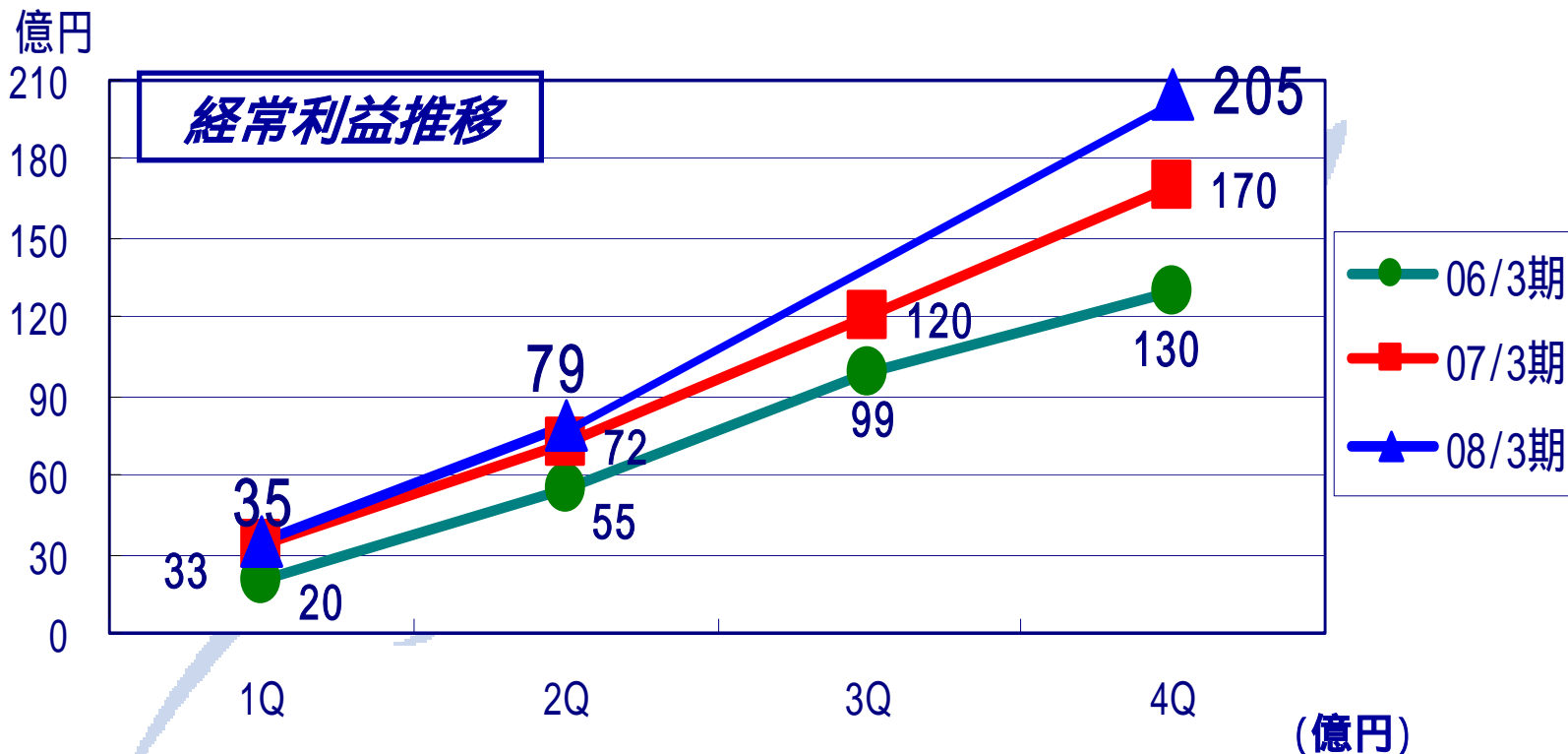
05 / 3期実績を100とした指数表示

**ばら積船** : 下期の市況前提を上方修正。

**タンカー** : 当社設定の市況前提で推移。

# セグメント別状況

## 2. 物流事業： 中期経営計画に則った利益成長が続く。



08 / 3期経常利益予想	1Q(実)	2Q(実)	上期(実)	下期(予)	通期(予)
NYK Logistics部門	13	16	28	59	87
YAS部門	22	29	51	67	118
Total	35	44	79	126	205

# セグメント別状況

## 3. ターミナル関連事業

- 1) 北米YTI (ロサンゼルス) / CTI(北米セレス) :  
在米のターミナルは、取扱高がともに前年実績を上回り、好調に推移。
- 2) CTE(欧州セレス) :  
取扱高の増加傾向が継続し、前年実績を上回る。

## 4. 客船事業

- 1) 飛鳥 は、乗船率・運賃単価ともに好調を維持。
- 2) クリスタルは、運賃単価が上昇し増益基調が続く。

# 航空運送事業 (NCA)

## 1) 08/3期 修正予想の前回予想比較

(億円)

	08/3期 前回予想			08/3期 修正予想				
	上期	下期		1Q	2Q	上期	下期	
売上高	460	540	1,000	224	270	494	506	1,000
経常損益	115	75	190	57	83	140	125	265
MOPS	\$84	\$85	\$85	\$84		\$100	\$92	

- ・ 日本発着のマーケットに底打ち感はあるものの、下期のイーロード・積高予想は下方修正。
- ・ 燃料費の高騰で、下期MOPS前提を\$100 / BBLに修正。
- ・ 機材更新、自立化プロセスは順調に進行。

# 航空運送事業 (NCA)

## 2) 航路別 L/F の推移

	08/3期 前回予想	08/3期 今回予想				
		1Q(実)	2Q(実)	上期(実)	下期(予)	
アジア 北米	97%	98%	100%	99%	96%	97%
北米 アジア	81%	80%	83%	82%	78%	80%
アジア 欧州	100%	97%	103%	98%	98%	98%
欧州 アジア	94%	85%	100%	91%	95%	93%
日本 アジア アジア域内	68%	72%	72%	72%	64%	68%
アジア 日本	75%	69%	69%	69%	73%	71%
全航路平均	81%	80%	81%	80%	78%	79%

アジア/日本 北米の積高を合算した物量によるL/F

L/F = Gross Chargeable Weight / ACL (Available Cabin Load)

# 航空運送事業 (NCA)

## 3) Phoenix Project 2.0 の機材計画

(機数)	06/3期	Phase-1			Phase-2				Phase-3	
		07/3期	08/3期	09/3期	10/3期	11/3期	12/3期	13/3期		16/3期
B747-200F	10	5	3							
B747-400F	2	4	6	10	10	10	10	10		10
B747-8F					2	5	8	11		14
他社スペース		2	2.5	3	3	3				
合計	12	11	12	13	15	18	18	21		24

### (自社機材)

平均機齢(年度末)	16.1	11.4	7.8	1.9	2.4	2.8	3.3	3.7		6.2
平均稼働時間/日	12.2	11.1	11.4	12.6	12.0	12.8	13.2	13.2		13.2

### (運航効率)

運航コスト/ATK	100	113	108	92	85	80	76	75		72
-----------	-----	-----	-----	----	----	----	----	----	--	----